

科目名	東西文化論	科目分類	□専門科目群 ■総合科目群	
			全学科	□必修 ■選択
英文表記	Study the Culture of Europe and Asia	開講年次	■1年 □2年 □3年 □4年	
		開講期間	□前期 ■後期 □通年 □集中	
ふりがな	はなだ ふじお	実務家教員担当科目	修得単位	2単位
担当者名	花田 富二夫	実施方法	■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用	
授業のテーマ	東西文化論として演劇を通じて両地域の文化の特質を考察する			
到達目標	オペラと歌舞伎の共通点や相違点を検証しながら両文化の特質を理解できたか			
授業概要	両地域の演劇の代表であるオペラと歌舞伎を取り上げ検証を行う			
授業計画				
第1回	オペラの概要について			
第2回	日本の芸能について			
第3回	オペラの発生について			
第4回	歌舞伎の発生について			
第5回	日本の芸能—狂言と能楽について			
第6回	日本の芸能—人形浄瑠璃について			
第7回	歌舞伎の舞台について			
第8回	オペラの舞台について			
第9回	歌舞伎の音楽について			
第10回	オペラの音楽について			
第11回	オペラのカストラートと歌舞伎の女方について			
第12回	オペラ「トスカ」について			
第13回	歌舞伎の荒事について			
第14回	歌舞伎の時代物について			
第15回	歌舞伎の和事とまとめ			
第16回	定期試験			
授業時間外の学習	日本の伝統的芸能に興味を持ち、さまざまなものに触れてもらいたい			
履修条件 受講のルール	特になし			
テキスト	すべてプリントによる なお、DVDによる鑑賞も行う予定である。			
参考文献・資料	講義時間中に指示する			
成績評価の方法	定期試験 80点、出席点と授業振り返りプリント 20点による 出席回数の規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、試験を受けることができない。			

オフィスアワー	木曜日 4 時間目
成績評価基準	定期試験と出席点などの合計が 6 割を超えたものを単位認定基準とする。他の評価は他試験と同様。秀(100～90 点)、優(89～80 点)、良(79～70 点)、可(69～60 点)、不可(59 点以下)とする。
実務経験及び実務を活かした授業内容	
学生へのメッセージ	毎回、興味をもって講義に臨むこと、言うまでもなく、無断出入りや講義中のスマホ使用は厳禁とする